祝　辞



衆議院議員　坂本　哲志

「先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2026」の開催を心よりお慶び申し上げます。平成28年熊本地震後、復興に向けた斬新的技術等を紹介する見本市としてスタートした同フェアは今年で8回目を迎え、すっかり熊本が日本に誇るイベントとなりました。

今年7月には熊本地震から10年目に、宇城市や八代郡氷川町で最大震度7を記録する「令和8年熊本地震」が発生しました。前回の地震と同様、多くの犠牲者や被害を出しましたが、復旧は前回の地震時よりかなり速いスピードで進んでいます。これも、これまでの同フェアを参考とした様々な「進化」があったからこそと考えます。

政府は11月にも「防災庁」を設立させる予定です。風水害、地震、津波、火山噴火など、近年災害が頻発する国としては地球の気候変動・温暖化に対して世界の中で災害を最小限に防止し、復旧復興を迅速に行う技術立国としてのリーダーシップが求められます。それが世界各国からの日本への信頼にも繋がります。

同フェアでは各企業はもとより、大学、高専、高校などの研究成果や新たな発見を披露する場でもあり、未来を担う人材育成にも寄与しています。

今回のフェアを通して、防災・減災にまた新たな技術革新が見られるとともに、日本の防災技術と意識向上が尚一層進みます事を祈念して挨拶に代えさせていただきます。

令和８年（2026年）11月吉日